

タイトル：

「生成AIの現状と活用」

概要：

近年の人工知能（AI）の発達により、文章などを生成できる人工知能（AI）システムが登場している。本ミニ講義ではChatGPTを例に、生成AIに用いられる技術である大規模言語モデルの概要を説明した。そのうえで、その利用における利点と懸念点を紹介した。これらの講義内容をふまえ、「懸念点と折り合いをつけつつ、我々が有意義に生成AIを利用していくにはどのようにすればよいか」という問いを考察することを主題とした。

## 採点・評価基準(具体的基準)

教科・科目名	個人レポート（課外推薦入学試験：令和6年度）	問題番号	
対象学部・学科(課程)等	情報学部（行動情報学科）		
出題のねらい	本学科での学習内容と学習活動への適合性を見るために、ミニ講義受講とその後のグループワークを踏まえた上で、自分自身の考えを的確かつ明瞭に議論することができているかを審査した。		
採点基準	<p>個人レポートの内容は、次の観点から評価された。</p> <p>(1) 内容理解（20%）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題に適切に回答しているか</li> <li>・ミニ講義の内容を正しく把握しているか、誤解はないか</li> </ul> <p>(2) 論理構造（40%）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体として妥当性の高い論理構成になっているか</li> <li>・結論とそこに至るまでの過程に矛盾や無理がないか</li> <li>・自分の意見と他者の意見を相対的に捉えているか</li> <li>・自分の意見と他者の意見を総合的に述べているか</li> </ul> <p>(3) オリジナリティ（20%）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニ講義で得られた情報だけでなく、自分なりの考え方が含まれているか</li> <li>・その回答者だけの独自の視点があるか</li> </ul> <p>(4) プレゼンテーション（20%）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み手に対してわかりやすいと考えられる表現をとっているか</li> <li>・紙上の表現に工夫がみられるか</li> <li>・誤字脱字、おかしい表現がないか</li> </ul> <p>以上</p>		